令和８年度 第１回刈谷市ごみ減量化推進会議　議事録（発言要旨）

日　　時	令和８年９月１８日（金）午後２時００分～午後３時３０分
場　　所	刈谷市役所５階　５０２会議室
出 席 者	ごみ減量化推進会議委員　１１名出席／１９名 ごみ減量推進課　平出課長、杉浦課長補佐、林係長、細川係長、竹内
議 題 等	（１）一般廃棄物処理基本計画について （２）ごみ減量化の進捗状況と施策について （３）災害廃棄物に関することについて 報告 （１）リチウムイオン電池及び廃食用油の回収実績について （２）粗大ごみ収集受付管理システム導入後の実績について

改選後で会長不在のため、会長選出まで事務局が進行

１　あいさつ

【刈谷市産業環境部　浅岡部長】

この会議は、市民、事業者、行政が一体となってごみ減量化を推進していくための重要な場であり、平成 6 年から開催しています。ごみ減量とリサイクルの推進は皆様の協働・協力が欠かせません。今後も刈谷市のごみ減量推進のためにご協力をお願い申し上げます。

会議の説明等【事務局　平出課長】

配付資料の確認。

「刈谷市ごみ減量化推進会議設置要綱」に沿って説明。本日は委員１９名中１１名が出席。過半数の出席であるため会議として成立する。

事務局職員の紹介。

２　会長、副会長の選出

要綱第３条第３項の規定により選出を行う。

委員の互選により、会長は愛知教育大学の榊原委員、副会長は刈谷市自治連合会の山田委員が選出される。

以後、榊原会長を議長とし、次第に沿って進行。

２　議題【事務局】

（１）一般廃棄物処理基本計画について

資料に沿い、刈谷市一般廃棄物処理基本計画の全体の構成について説明。

今後、社会情勢やごみ収集量に照らしながら、計画の評価・検証を行っていくことを説明。

（２）ごみ減量化の進捗状況と施策について

資料に沿い、数値目標及び実績、ごみ減量化に関連する施策の実施状況の報告。

＜意見等＞

【委員】

p.11「ウ 小学校社会科副読本の作成、配付」に、20 年間、授業でクリーンセンターと不燃物埋立場の見学に行っている文言を追加してほしい。副読本についても、学校教育課と連携して変化しつつある現状に合わせた内容にしてほしい。
また、自治会が集めたペットボトルキャップを学校に持っていくのだが、どの程度学校側はペットボトルキャップ回収に力を入れているのか。

【事務局】

学校によって力の入れ方が違う印象である。

【委員】

地域の資源回収所の設置場所について、敷地面積を多く取ってしまうため、用地確保を支援してもらえると嬉しい。

【事務局】

用地確保は課題として認識している。相談があれば、個別に話し合いをして進めていければと思っている。

【委員】

少し汚れたプラスチック等、分別に迷った場合のガイドのような動画配信を検討してほしい。
また、５３０運動で使うバイオマスプラスチックのごみ袋は購入可能か。

【事務局】

５３０運動用の物であり購入はできない。

【委員】

高齢者等戸別収集はどういう制度か。

【事務局】

訪問調査を行い、必要と判断された方の自宅まで全種類のごみを決められた日に収集しに行く制度。

【委員】

副読本はデジタル化しないのか。
また、今後、単身世帯の高齢者が遺品整理等でごみを大量に出されるのではないか。

【事務局】

副読本は各家庭で読んでもらいたいことから、デジタル化はしない方向性で学校教育課と話し合って決めたという経緯があるが、今後も精査を続けていく。
今後、高齢者の死亡に係るごみ排出量の増加は、総排出量全体との比率でいえば大きな影響はないと考えている。

【委員】

粗大ごみ処理の有料化も検討していると思うが、そうなった場合、駆け込みが起きるのではないか。環境組合はどう考えているか。

【委員】

仮に有料化する場合、余裕を持った周知期間を設ける。

ほか、質問及び意見なし。

（3）災害廃棄物に関することについて

資料に沿い、災害廃棄物に関連する施策の報告。

【委員】

災害時のし尿処理に関連して、刈谷市にはトイレトレーラーがあるのか。

【事務局】

トイレトレーラーは所有しており、実際に派遣実績もある。

3　報告【事務局】

（1）リチウムイオン電池及び廃食用油の回収実績について

資料に沿い、リチウムイオン電池及び廃食用油の回収実績について報告。

（2）粗大ごみ収集受付管理システム導入後の実績について

資料に沿い、粗大ごみ収集受付管理システム導入後の実績について報告。

4　その他【事務局】

次回会議は**令和９年３月**を予定。

質問及び意見なし。

ほか、会議全体を通して質問及び意見なしと確認。